

HA ヒーター & エアコン

目次

概要・ヒーターダクト	HA- 2
概要	HA- 2
ヒーターダクト (N1仕様車)	HA- 2
クーラーサイクル	HA- 3
コンプレッサー	HA- 3
コンデンサー	HA- 4
リキッドタンク	HA- 5

@gabednconfused

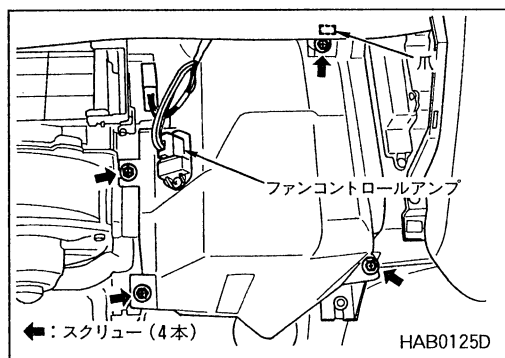
@gabednconfused

@gabednconfused

@gabednconfused

概要

ここでは、追加車種による従来車との変更点について記載する。その他の整備要領は、「スカイラインR33型整備要領書（A006022）」を参照のこと。



ヒーターダクト (N1仕様車)

取り外し

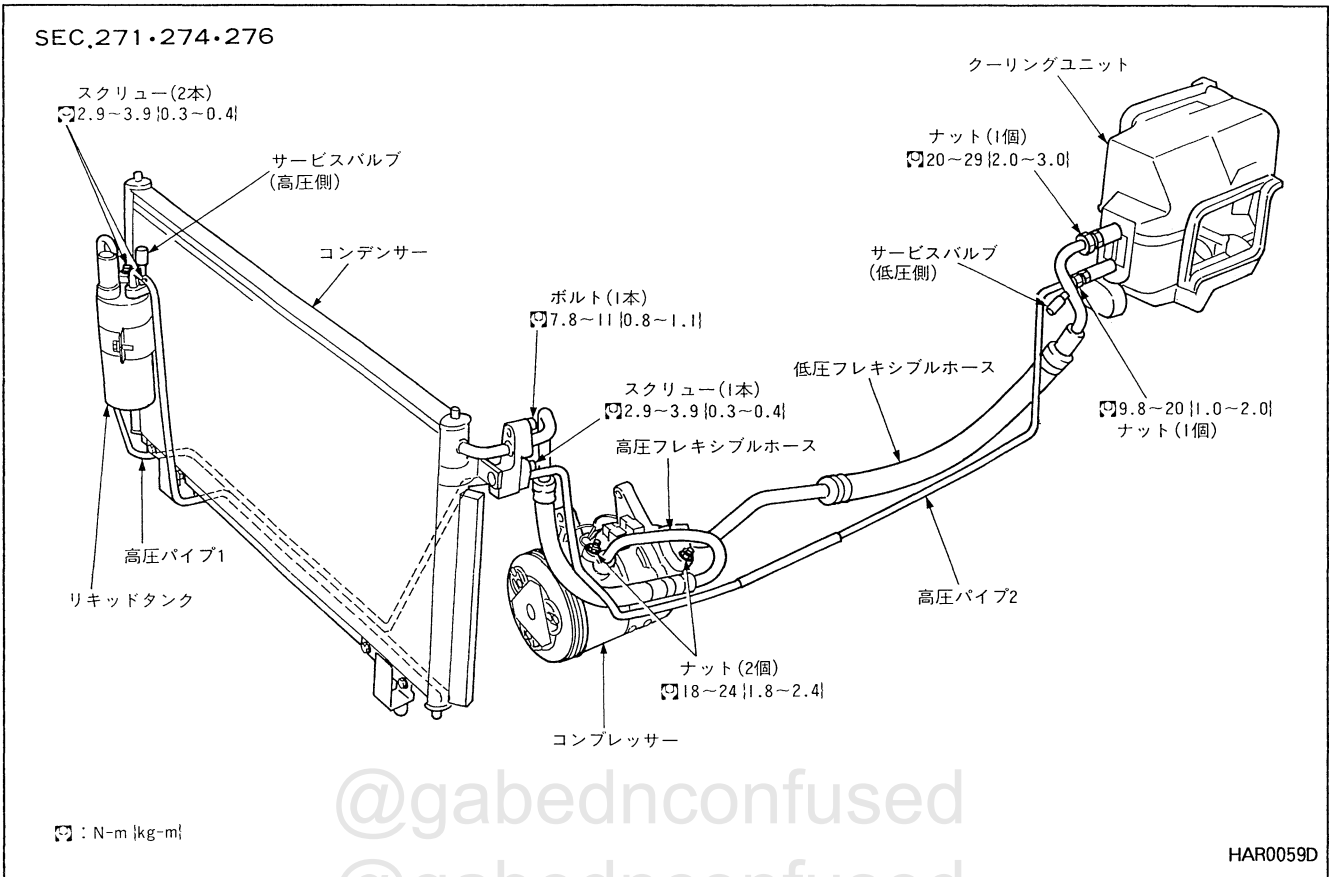
1. インストロアパネルを取り外す。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) BI編インストール」の項参照)
2. ファンコントロールアンプのコンネクターを外す。
3. スクリュー (4本) 及び爪 (1箇所) を外し、ヒーターダクトを車両より取り外す。

取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し取り外しの逆の手順で行う。

ヒーターダクト取付スクリュー

締付トルク (N·m {kg·m}) : 0.6 ~ 1.2 {0.06 ~ 0.12}

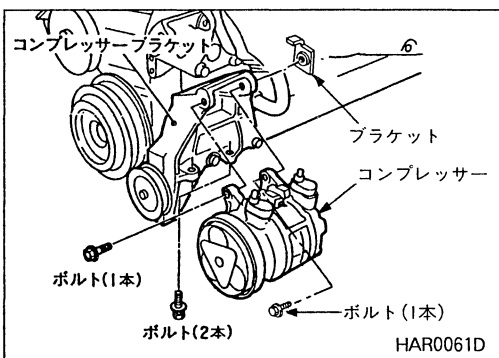
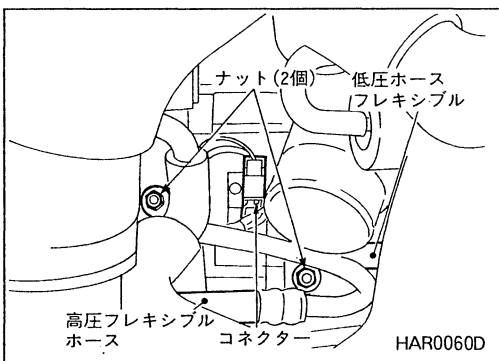


コンプレッサー

取り外し

1. 冷媒回収装置 (HFC134a用) を使用し、冷媒を回収する。
2. 外気導入ダクト及びレゾネーターを取り外す。
(「EM編エアクリーナー、エアダクト」の項参照)
3. エアクリーナー-ASSYを取り外す。
(「EM編エアクリーナー、エアダクト」の項参照)
4. コンプレッサーのコネクターを外す。
5. ナット (各1個) を外し、高压及び低压フレキシブルホースをコンプレッサーから取り外す。

注意 : HFC134a用のコンプレッサーオイルはCFC12用比べて吸湿性が高いため、コンプレッサー及び配管の接続口を開放する際は、キャップ又はビニールテープなどで大気から遮断する。



6. アンダーカバーを取り外す。
7. コンプレッサーブラケット部のテンションプリーロックナット及びアジャストボルトを緩め、コンプレッサーベルトを外す。
8. ボルト (4本) を外し、コンプレッサーを車両下側取り外す。
9. ボルト (4本) を外し、コンプレッサーブラケットを取り外す。

コンプレッサー (続き)

取り付け

1. コンプレッサーブラケットを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 37.3 ~ 50.0 {3.8 ~ 5.1}
2. コンプレッサーを取り付ける。
締付トルク (N-m [kg-m]) : 37.3 ~ 50.0 {3.8 ~ 5.1}
3. コンプレッサーベルトを取り付け、ベルトの張り調整を行う。
(「MA編主な点検調整要領補機ベルト」の項参照)
4. 高圧及び低圧フレキシブルホースのOリングを交換し、コンプレッサーオイルを塗布する。
5. 高圧及び低圧フレキシブルホースをコンプレッサーに取り付ける。
高圧及び低圧フレキシブルホース取付ボルト
締付トルク (N-m [kg-m]) : 18 ~ 24 {1.8 ~ 2.4}
6. コンプレッサーのコネクターを接続する。
7. 取り外しの1~4を逆手順で行う。

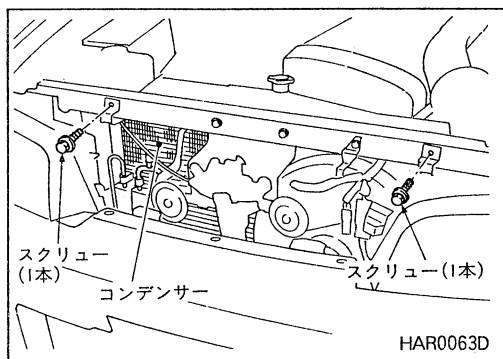
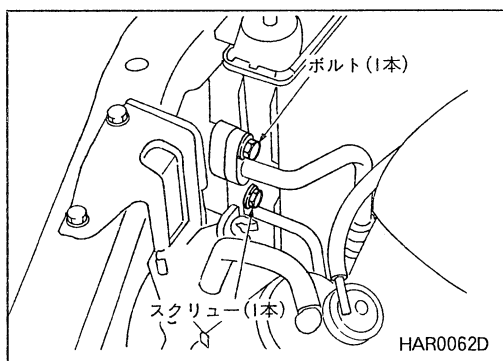
注意 : 冷媒ガス充てん時に、冷媒漏れ点検を行う。

コンデンサー

取り外し

1. 冷媒回収装置 (HFC134a用) を使用し、冷媒を回収する。
2. 外気導入ダクト及びレゾネーターを取り外す。
(「EM編エアクリーナー、エアダクト」の項参照)
3. クーリングファン (カップリング付) 及びラジエーターシュラウドを取り外す。
(「LC編ラジエーター、クーリングファン」の項参照)
4. ラジエーターアッパーブラケット (2個) を取り外す。
5. リキッドタンクを取り外す。(「リキッドタンク」の項参照)
6. ボルト (1本) 及びスクリュー (1本) を外し、コンデンサーの高圧パイプ (出入口) の接続を外す。

注意 : HFC134a用のコンプレッサーオイルはCFC12用に比べて吸湿性が高いため、コンデンサー及び配管の接続口を開放する際は、キャップ又はビニールテープなどで大気から遮断する。



7. コンデンサーブラケット取付スクリュー (2本) を外し、ラジエーターをエンジン側に寄せ、コンデンサーをラジエーターとラジエーターコアサポートの間から取り出す。

注意 : コンデンサーのコア面を傷つけないこと。

コンデンサー (続き)

取り付け

1. コンデンサーを取り付ける。

注意 : コンデンサー下のラバー部がラジエーターコアサポートロアの穴に確実に入っていることを確認する。

コンデンサーブラケット取付スクリュー

締付トルク (N-m {kg-m}) : 3.8 ~ 4.5 {0.39 ~ 0.46}

2. コンデンサーの高圧パイプ (出入口) のOリングを交換し、コンプレッサーオイルを塗布して、接続する。

取付ボルト (冷媒入口側)

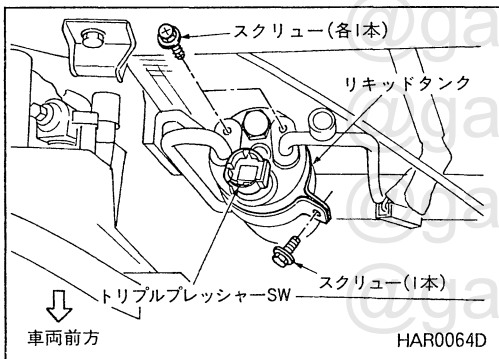
締付トルク (N-m {kg-m}) : 7.8 ~ 11 {0.8 ~ 1.1}

取付スクリュー (冷媒出口側)

締付トルク (N-m {kg-m}) : 2.9 ~ 3.9 {0.30 ~ 0.40}

3. 取り外しの1~5を逆手順で行う。

注意 : 冷媒ガス充てん時に、冷媒漏れ点検を行うこと。



リキッドタンク

取り外し

1. 冷媒回収装置 (HFC134a用) を使用し、冷媒を回収する。
2. トリプルプレッシャースイッチのコネクターを外す。
3. スクリュー (各1本) を外し、リキッドタンクの高圧パイプ (出入口) の接続を外す。

注意 : HFC134a用のコンプレッサーオイルはCFC12用比べて吸湿性が高いため、リキッドタンク及び配管の接続口を開放する際は、キャップ又はビニールテープなどで大気から遮断する。

4. リキッドタンク取付スクリュー (1本) を外し、リキッドタンクをブラケットから取り外す。

取り付け

1. リキッドタンクをリキッドタンクブラケットに取り付ける。

リキッドタンク取付スクリュー

締付トルク (N-m {kg-m}) : 3.8 ~ 4.5 {0.39 ~ 0.46}

2. リキッドタンクの高圧パイプ (出入口) のOリングを交換し、コンプレッサーオイルを塗布して、接続する。

取付スクリュー (出入口)

締付トルク (N-m {kg-m}) : 2.9 ~ 3.9 {0.30 ~ 0.40}

3. 取り外しの1~2を逆手順で行う。

注意 : 冷媒ガス充てん時に、冷媒漏れ点検を行うこと。

MEMO

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused